

難聴者聴覚検査・診断機器普及促進事業 在外事務所による支援の事例①



2017年2月13日

独立行政法人国際協力機構（JICA）

ベトナム事務所

1 ベトナム事務所から見た事業背景・意義

- 保健医療は対ベトナム支援の重点分野の一つであり、医療機関の施設整備、機能強化、感染症対策等に対して、日本の医療従事者や専門家の協力を得て、これまで多くの資金協力や技術協力プロジェクトが実施。
- ベトナム側の医療ニーズのが高度化・多様化するなか、日本の民間企業が持つ優れた医療資機材及び医療情報システムの導入とその活用ノウハウの普及を期待。
- 聴覚検査・診断機器と補聴器による長期的なビジネス展開を目指すリオン社により、関西医科大学連合と奈良医科大の強いコミットメントを得て、持続性の高い難聴者支援の仕組みづくりの提案を受け実現。

2 ベトナム事務所における支援

- ベトナム保健省への紹介、面談同行（応募前）
- 越日聴覚検査センター開所式への出席（事業開始直後）
- 保健省国立労働環境衛生研究所への紹介、視察同行
⇒機器の導入（貸与）に至った。
- 広報協力
- 後半フェーズでは、事業化検討支援を強化